

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年5月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103060
法人名	医療法人 仁愛会
事業所名	グループホーム 笑憩の里
所在地	鹿児島市吉野町5221-1 (電話) 099-295-8650
自己評価作成日	平成30年3月6日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年5月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入所前には、家族だけでなく本人や入所前の施設の相談員などから直接お会いして、不安や意向を伺っておりケアプランやケアに反映している。
- ・入所者の一人一人のペースに合わせたケアを心がけている。
- ・利用者に安全で安心して頂けるよう職員は目配り、気配りに努めている。
- ・第4木曜日は防災時に備えた防火防災対策(避難訓練)を実施している。
- ・天気の良い日は庭の散歩や日光浴、室内では歌や音楽に合わせて体操したり、カラオケ、回想法などに参加されておられる。
- ・かかり付け医の定期的往診や、病院の看護師に体調変化を相談するなど適切な医療に繋がっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、母体医療機関近くに建てられており、同敷地に障害者施設を併設している。駐車場からは、桜島の眺望が望め中庭には、桜の大木があり、毎年花見を楽しんでいる。
- 理念は、開設当初からのもので、「いっしょに たのしく ゆったりと」を掲げ、利用者と家族の尊厳や思いを最大限に尊重し、本人や家族の持てる力、地域力に働きかけ地域密着型サービスを意識して、事業所自体が地域に積極的に働きかけ地域と繋がりながら、利用者が一日を生き生きと笑顔で過ごせるよう取り組むといった理念であり、毎朝の申し送り時やユニット会議などで理念を唱和し触れる機会を設けている。
- 災害マニュアルがあり、年2回消防署立ち合いで昼夜想定避難訓練を実施している。また、毎月、「防災の日」を設けて自主点検や訓練を実施するなど防災に対する意識が高く、法人との協力体制が構築されているが、近隣地域との避難の協力体制はできていないため、管理者は、避難訓練の際は近隣に呼びかけるなどして協力を求めていくよう検討している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・ホームの理念「いっしょに楽しくゆったり」と過ごせるように急がず、慌てず、入居者様とのコミュニケーションに努めている。	理念は、玄関や廊下に掲示され、パンフレットに掲載もあり、毎朝の申し送りやユニット会議や全体会議などで唱和し理念を意識したケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議や施設行事には地域の方々やボランティアを受け入れ交流を図っている。	町内会には加入しておらず運営推進会議や民生委員から地域の情報を収集しているが、地域との日常的な交流活動は少ない。ホームの敬老会やクリスマス会には、地域ボランティアに来ていただき踊りを披露してもらっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	・地域の事業所の方々との会議を通じ意見交換会を行って地域の方への発信をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・町内会長、民生委員、利用者、ご家族、長寿安心相談センター職員に参加して頂き、活動報告、意見や提案を伺い時には第三者の立場から厳しい意見も頂き運営に反映している。	管理者は、家族の参加が少ないことを懸念しており、家族会や敬老会などの行事と同時開催を継続するなどして、より一層家族への参加を呼びかけていく予定である。毎回、代表者である医師などの参加もあり、医学的な意見を参考に利用者や家族、職員への健康被害についても話し合われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・市の相談員を受け入れ行政の制度の改正や実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら協力関係を築いていくよう心がける。	市担当者や福祉事務所職員との協力関係があり、電話や面談などで報告や連絡、アドバイスを受けるなどしながら連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束は絶対してはいけない事を常に守っているが危険を感じる時ややむを得ず行う場合はケースカンファレンスを開き、家族や法人との話し合いを持って、ケアに取り組んでいる。行った場合は、記録と拘束時間を残すようにしている。	身体拘束委員会を中心に、年3回内部研修を開催、派遣職員も参加し情報を共有し、知識や技術を研鑽しながら身体拘束廃止に向けて取り組んでいる。職員は、ホームの理念を常に意識し、利用者本位にケアするよう努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・職員間で皮膚診察や言葉での虐待が無いように気を付けている。・職員は、心のゆとりを持ち入居者様にとって良い施設過ごししやすい施設を意識している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・花倉病院のPSWと連携している。・職員は、成年後見人制度や権利擁護についての理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入所時に十分な説明を行い理解して頂いた上での契約を行っている。・変更や改正時の場合は速やかに家族に連絡し、理解や同意を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・2ヶ月に1度運営推進会議を行い入居者様やその家族の意見を聞き運営に反映させている。・玄関に意見箱を設置している。・笑顔だよりや行事の案内を郵送している。	利用者や家族には、日々の暮らしの中で直接、意見や要望などを聞き取るようにしている。また、家族向けアンケートの実施や笑顔便りの発行により運営状況をお知らせするように努め出された意見などは、ケアに活かしたり、サービスの向上に努めるよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月に1度の職員会議で「業務改善等」意見や提案が出来運営に反映している。・新人職員にも分かり易くマニュアルで説明している。・個人面談で意見を聞いている。	管理者は、随時職員と面談したり、職員会議などで意見・提案を聞くようにしている。管理者交代により新体制がスタートしたばかりであるが、職員の意見を聞く機会を設けながら職場環境の改善や整備などに取り組んでいるところである。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・希望休みを確認し、勤務表を作成している。・入社時健康診断、定期職員健診を行っている。・休憩場所の設置や休憩時間の工夫も職員と話し合っている。・オンコール体制の整備がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・月1回の職員会議での内部研修・職員は個人で（法人研修案内等）外部研修に参加している。・（手洗い方法、汚物処理方法）をDVDで学んだり、その都度適切な指導や助言をした。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・地域のよかど会の参加交流している。・県、鹿児島熊毛支部連絡協議会に加入している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・入所前には本人や家族にホームの見学をして頂く。新しい生活に馴染めるように不安なこと等情報収集や関係づくりに努める。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・本人やご家族にホームへ見学して頂く。・ご家族の介護での不安や今後の生活の希望を聞き安心して頂けるようにする。情報を共有する。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・本人と事前に訪問し話しを伺う中でご家族や本人の思い介護上の困っている事を見極めるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・本人の得意な事を楽しみながら発揮できるよう支援に努めている家族の一員として関わりを大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・本人の意思を尊重しつつ、ご家族の協力を得ながら支援している。 ・月1回ご家族へ一言メッセージを贈りご家族と情報を共有している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・外出支援などしながら知人や親戚と会ったりして関係が途切れないようにしている。行事の参加を呼びかけている。	地元の利用者が多く、知人や友人の面会や電話の取次ぎ、手紙の代読などに努め馴染みの関係が途切れることがないように支援している。また、訪問理美容の利用、家族に協力をいただきながら受診や行きつけの店で外食するなども推奨している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・日中レクリエーションを通じて皆さんが出来る楽しい場を設けるように努めている。利用者の出来る範囲で家事を一緒に行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・病院など入院された時は、お見舞いに行ったりご家族へ連絡し様子を伺ったりしている。 ・ご利用者の相談を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・安心して落ち着いた生活が送れるように努めている。本人の意向を聞いて支援している。	「24時間シート」を活用しながら、本人の言動を確認・思いや意向を把握し、介護記録などにも記録しながら情報を共有してカンファレンスや担当者会議などで話し合っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・利用者とコミュニケーションを通じて本人の生き立ち、生活歴を把握し支援している。24時間シート活用。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・健康観察を充分に行い体調変化に気を付けている。本人の身体状況により手助けしている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・アセスメントやモニタリングを行い職員間の情報を共有している。本人やご家族、職員の意見を反映させている。	アセスメント表には、利用者の望む暮らしや本人らしい暮らしの実現、家族の意向が記載されている。職員は、毎月カンファレンスを開催し、3ヶ月ごとにモニタリングを実施している。また、介護計画は、現状に即した計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・気付いた事を介護記録や個人記録に記入し、送りの時に職員間で情報共有し、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・毎月、ご家族へのメッセージカードを送付し、コミュニケーションを取っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・運営推進会議や敬老会などでご利用者との交流が出来てる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご利用者様の体調を観て、上申や同伴受診などで対応しています。	母体医療機関とのオンコール体制があり、訪問診療にて定期的な診察などを受けている。他科受診は、情報提供書を作成し家族に協力をいただくなどし適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・月1回定期往診には、情報提供行き連携を図っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>・入院、退院時に情報交換を行い病院との連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・入院後3週間目でサービス担当者会議を開き今後の方向性を話し合っています。</p>	<p>契約時、「重度化や終末期に伴う対応の指針」にて説明をおこなっているが、利用者や家族に対し段階に応じたその都度の意志確認は文書化されていないため、管理者は早急な課題としている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・救急要請時は、（緊急時の利用者情報）を使用し慌てないで対応出来るように備えています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月災害を想定した避難訓練を実施している ・年2回消防訓練も行っている ・防災マニュアルを作成し適切に対処できるように努めている 	<p>地域へは、運営推進会議で協力を呼びかけているが、近隣住民の協力体制はできていない。職員は、毎月「防災の日」を設けて自主訓練に取り組むなど防災意識は高く、法人の協力体制を築いている。防災頭巾などの防災グッズや水、缶詰などの備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の思いや意思を尊重している ・その人の思いを受け止め、ゆっくりと話を聞くよう配慮している 	居室に入る時は、必ずノックをしたり、コミュニケーション活動時は、お互いの表情や声が聞き取りやすい体勢に気を配るなどしている。職員は、馴れ合いにならないよう言葉の使い方は特に気をつけるよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい声かけをし、本人の話を引き出せるように雰囲気作りに努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さんのペースに合わせて過ごしている。本人の希望に沿うように対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕のパジャマ更衣、洗面・整髪への支援 ・利用者さんの好みに合わせてオシャレなど楽しんでもらっている 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・その人に合った食事準備など声かけしながら一緒に行っている ・事形態を工夫し食べやすくしている 	食事形態を工夫したり、必要な方には介助して食事が摂れるよう支援するとともに、月1回は、「弁当の日」を設けて食が楽しみになるよう取り組んでいる。また、食事の下ごしらえや片付けなど能力に応じてお手伝いもいただいている。外食は、家族と一緒に楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 水分補給の時間を決めている 職員は食事量・水分量を把握し、形状の工夫や捕食などを個別でおこない工夫している 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> 毎週ポリデント実施している 個人の状況に合わせて口腔ケアや磨き支援している。口腔内義歯の状態により医療機関にて対応している 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 個人の状態の情報を共有し、時間にあわせてトイレ誘導している 立ち上がりや移動を見守り、トイレ誘導支援している 	排泄のリズムを把握し、記録の活用や情報を共有しながら、なるべくトイレで排泄ができるよう努めている。トイレは、内カーテンを設置しプライバシーに配慮したケアに取り組むなど排泄の自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	カスピカイヨーグルト、緩下剤など3日目にて調整。排泄状態を把握しながら腹部マッサージや軽体操など取り入れている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回入浴を実施し、時間帯を利用者様に合わせ、体調も見ながらおこなっています	利用者の希望する入浴方法を検討し、気持ちよく入浴して保清に努められるよう配慮している。重度化などもあり、湯船に入られる方は約半数に留まっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・日中は体操や歌などのレク活動をおこなっています ・眠れない時は安心して寝ていただくよう支援しています 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	朝・昼・夕・寝る前の薬は職員間で声に出し、ダブルチェックを行い、本人の前でも確認し、誤薬防止しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日は弁当または利用者様の好みのものを献立に取り入れています。 ・新聞紙のゴミ袋を作って頂いたら、感謝の気持ちを伝えてます 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・正月やお盆休みの一時外出や外泊がありました。 ・その日の天気や利用者様の体調に応じて散歩にお連れしています 	行事計画表にて外出を計画しているが、重度化や高齢化、認知症の進行などにより実施ができていない。職員は、本人の希望を聞き取り、家族に協力をいただくなどして外出や外泊を勧めたり、天候や体調を見ながら近隣を散歩するなどしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭出納帳（個人分）から必要な物を購入支援してます</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族等に手紙を書いたものを預かり投函している ・家族からの電話の取りつぎを支援してます 		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた飾り物を置いたりして楽しんでいます ・加湿器を使用して温度の調整を行っています 	<p>玄関には、カーネーションなどの季節の生花が活けてある。食堂とは別に利用者のくつろぎの居室（畳スペース）があり、ソファに腰かけてテレビ鑑賞したり、利用者同士の語りやレクリエーションの場になっている。居室が回廊式に並び、壁面には、利用者の作品や飾りつけなどが季節感を与える共用空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者間のトラブルや干渉が無いように、席の配置を工夫しています ・座る席は利用者様とスタッフと話を決めて決める 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>仏壇や使い慣れた家具、写真を置き、ゆっくり出きる居室にしています</p>	<p>ベット、エアコン以外は、利用者の馴染みの物を持ち込んでもらっている。位牌や仏像があり、利用者の生活習慣の継続や宗教に配慮している。各居室は、掃き出し窓であり、非常時の出入り口を兼ねている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日付がわかる様、日めくりカレンダーを使用しています ・居室が分かりやすいように、場所の表示をしています 		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない